

みぶりんだより

壬生町町民活動支援センター「みぶりん」

2020年12月号 Vol.76



■開館時間

火～金 10時～18時
土・日・祝 10時～17時
(火～金は予約をして頂ければ21時まで利用可能)

■休館日

月曜日・年末・年始

- ★ 〒321-0214 壬生町大字壬生甲 3843-1
(保健福祉センター内)
- ★ 電話 0282-21-8731 FAX 0282-21-8732
- ★ E-mail: miburin@bz04.plala.or.jp
- ★ <http://www.town-mibu.com/miburin/>

★メールアドレスを教えて頂ければ、毎月みぶりんだより(カラー版PDF)をメールでお送りします。

ワードによるオリジナルアルバム作成講座 旅の思い出、家族の写真の整理、団体運営にも活用できます！

日時▶ 2021年2月7日(日)午後1時30分～午後4時30分

場所▶ 保健福祉センター 2階 ボランティア室

参加費▶ 無料 募集人員▶ 5人

持参するもの▶ ご自分で使用している

ノート型パソコン(Windows10又は8.1)。写真データ。

その他▶ ワードにて、文字入力、写真の貼り付け等が出来る方。

申込先▶ 町民活動支援センターみぶりん まで

申込▶ 12月23日(水)～2021年1月20日(水)迄

講師▶ 落合英行様

主催▶ 町民活動支援センターみぶりん

作品イメージ▶



もりさとかわうみ

「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」に係る説明会開催される

町民活動支援センターみぶりん利用者協議会

11月10日、保健福祉センターにおいて、「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」に係る説明会が開催されました。説明会には、町民活動支援センターみぶりん利用者協議会(桑原史朗会長)役員と「環境の保全・子供の自然体験分野」などの登録団体から約20名が参加しました。

まず、栃木県廃棄物対策課加藤道夫氏から「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」に関する説明を頂き、次に壬生町生活環境課増田利幸氏及び同眞生田隼也氏から町の取り組みなどについて説明して頂きました。

現在、プラスチックは毎年800万トン分海に流出されていて、海のプラスチックの量は、2050年までには魚の量を上回る計算となっていること。プラスチックのリサイクルを促進し、海などの自然界への流出を防ぐ対策が急務となっているなどの説明を受けました。

また、意見交換では、自治会における資源ごみ回収の取り組みや、河川清掃などの実践活動が報告されました。そして、捨てないようにするにはどうするかが大切であり、子どものうちから関心を持ってもらうような人間教育が重要であるとの提案も出されました。

次回の勉強会は、12月8日(火)午後1時30分から保健福祉センターで開催されることとなり、関心のある方はみぶりんまでお問い合わせください。



町民活動支援センターみぶりん利用について

- 利用の際は、感染症予防対策をお願いします。
- ・日頃の健康管理(検温の実施)
 - ・2、3人程度での入室
 - ・手洗いの徹底や手指消毒・マスクの着用
 - ・室内の換気
- 皆さまのご協力をお願い致します。

目次

- ① プラごみゼロ宣言・環境分野別勉強会
- ② 輝光祭 (南犬飼中学校)
- ③ 「はにしの里大運動会」(羽生田地区連絡協議会)
- ④ 赤御堂の歴史散歩 (鈴木良男様)
- ⑤ サツマイモ掘り (NPO法人みぶまち地域活性化21・至宝町南自治会)
- ⑥ 日光の紅葉散策 (落合地区お達者サロン・壬生植物同好会)



南犬飼中学校

10月23日、南犬飼中学校で「輝光祭」(学校祭)が行われました。

コロナ感染防止のため一般公開はなくなりましたが、体育館でオープニングが行われ、発表・展示など盛大に行われました。当日の発表・展示のうち、ギター・ものづくり(木工)・写真・茶道・歴史については、指導者の方をみぶりんから派遣しました。

本番までの準備期間(8月末～当日)には、毎週各コースの指導者の方に熱心に指導して頂きました。各コースの指導者の方は以下の通りです。

- ギター：斎山雅様・田中武雄様・神永武雄様
- ものづくり：大沼靖克様（夢限工房）
- 写真：阿美智篤様（しゃしんやあみ）
- 茶道：壬生町茶華道協会(柴七郎会長)の方々
- 歴史：壬力の町ガイドボランティアの会(藍田收会長)
落合英行様(地球誕生～古墳時代の壬生)
寺内太希夫様(壬生の古墳)
早乙女春香様(戦時中の壬生)
- 絵手紙：増山和枝様

(取材 鈴木)

ギター



▲指導 ▼当日ステージ



ものづくり



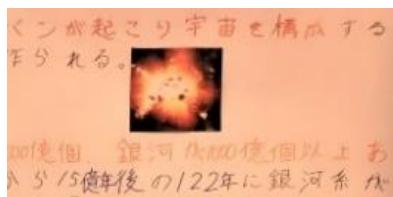
▲指導 ▼作品



歴史(地球誕生)



▲指導 ▼展示



歴史(古墳)



▲指導 ▼展示



歴史(戦時中の壬生)



▲指導 ▼展示



写真



指導

作品

茶道



指導

展示

絵手紙



指導

作品

活動報告

コロナ禍に負けじ、「はにしの里大運動会」に地域が集う！ 羽生田地区連絡協議会

コロナ禍において、羽生田小学校と地域5自治会の共催となる「第21回はにしの里大運動会」が、10月18日に「仲間とともにきずなを深めて最後まで」をスローガンに実施されました。コロナ禍のため、午前中のみの特別仕様プログラムでしたが、児童たちが主役となった素晴らしい運動会になりました。



全児童（30名）が校庭に整列



全校合奏の発表（3回に分けて演奏）

小規模校のため、コロナ仕様であっても各種目・演奏とも常に全員参加（全児童30名、内校区外7名）の原則は変わりません。それぞれが、合奏発表に、競技に、ダンス（羽っこソーラン2020）に、団結し、集中し、最後まで力を出し切りました。今回掲げたスローガン（仲間、きずな、最後まで）を、児童それぞれが考え、表現していました。校庭に掲示された「運動会のめあて」には、児童それぞれの運動会にかける熱い思いが記されており、読む人の感動を誘います。

合同運動会は、羽生田地区の人的心をひとつにします。そのために、本協議会の役割はますます重要になってきていると感じました。

（書記 山名久雄様記）

赤御堂の歴史散歩 鈴木良男様

10月9日、小雨の降る肌寒い中、「壬力の町ガイドボランティアの会」の方々と歴史に興味のある地域の方々の参加を募り、赤御堂とその周辺を案内しました。

壬生町上稲葉、峰山丘陵の南の端に位置する赤御堂の地は、かつてここに朱塗りのお堂があったことから、この名がついたと言われています。

壬生藩最後の藩主、鳥居忠宝は廃藩置県により職を失った士族が収入を得ることができるよう模索し、当時日本の主要な輸出品の一つであったお茶に着目、この赤御堂の荒れ地を開墾して明治14年に製茶工場を現在の嘉陽が丘ふれあい広場の場所に作り、最盛期には900人の職工が生産に携わりました。当時はアメリカのボストンを中心に約20トンを輸出していました。しかし、明治10年代後半の農産物価格下落の影響のため、残念ながら工場経営は短命に終わり、数年で幕を閉じました。

これまで前記の製茶工場の場所やその後は謎でしたが、最近家中小学校より提供された当時の落成式の来賓祝辞によると、赤御堂にあった製茶工場は明治19年に家中小学校に移築され、校舎として利用されたと記載されています。この祝辞の発見により、製茶工場の位置も判明しました。

今後も赤御堂の歴史が風化しないように取り組んでいきたいと思います。

（鈴木良男様記）

活動報告

秋空の下でサツマイモ掘り

特定非営利活動法人 みぶまち地域活性化21・至宝町南自治会

11月1日、福和田地内において「特定非営利活動法人みぶまち地域活性化21（大橋良平理事長）」と「至宝町南自治会（二ノ宮博己会長）」は、サツマイモ掘りを行いました。「子ども会育成会（高山ひとみ会長）」から16家族60名が参加しました。

至宝町南自治会では、毎年「心の教育 青少年地域育成懇談会&育成会お楽しみ会」を室内で開催していましたが、今年は、新型コロナウイルスの感染症予防のため屋外でのイベントとなりました。

サツマイモ掘りは、4班に分けて行い密にならない方法を取り入れました。参加した子どもたちは、はしゃぎながら土をいじったりサツマイモを興味深く掘ったりしていました。

また、会場では、地域の方々が用意したかんぴょう汁やサツマイモのステック揚げなどをほおばって楽しい一日を過ごしました。
(会員記)



日光の紅葉散策 落合地区お達者サロンクラブ・壬生植物同好会

春先よりコロナウィルス感染予防対策による外出自粛要請等で家の中での生活が余儀なくされ、心身共に疲れておられる中、少しでもストレス解消となればと思い、10月22日にコロナ対策を取りバスにて、「落合地区お達者サロンクラブ（小倉重喜代表）」と「壬生植物同好会（山崎治行代表）」の皆さんとの15名で中禅寺湖畔の紅葉散策に行ってきました。

明智平からロープウェイに乗り、展望台から、華厳の滝、中禅寺湖、男体山が一望でき、紅葉の絶景を観ながら植物同好会の山崎さんより、赤、黄に色づいた落葉樹の説明をして戴きました。その後、中禅寺湖の歌ヶ浜駐車場から旧イタリア大使館別荘公園まで歩いて行き、大使館を見学。静かな湖畔の紅葉散策を皆さん堪能されました。

(落合地区お達者サロンクラブ代表 小倉重喜様 記)



☆「みぶりんだより」は下記のところに置いています☆

みぶりん・保健福祉センター・壬生町役場・各出張所・各コミュニティセンター・各公民館・生涯学習館・図書館・歴史民俗資料館・体育館・みらい館・おもちゃ博物館・嘉陽が丘ふれあい広場・ふれあい交流館・シルバー人材センター・各小中学校・壬生高校

【編集後記】■プラスチックごみの量は2050年には海の魚よりも多くなるとの予測がされています。みぶりん分野別会議の勉強会ではプラスチックごみ削減に向けた行動をどう起こすか議論が続けます。ぜひ、次世代にかかる問題ですので、皆さん一人一人が知恵を出し合って一歩前に進みましょう。（玉田）
■先日、都道府県魅力度ランキングの発表があり、栃木県が初めて最下位になりました。経済効果を考えるとランキングは上位のほうが良いのはわかりますが、私は、今の栃木県、今の壬生町が住みやすく大好きです。（鈴木）■「みぶりんだよりを読みました」という声をたくさんの方々から聞き、嬉しいです。編集作業の励みになります。載せて欲しい活動等ありましたらご連絡ください(^-^)（小田垣）
■はちみつの生姜漬けを作りました。就寝前にお湯で割って飲むと体がポカポカしてお勧めです。（柴田）